

釧路市強靱化計画

見直しに伴う改定内容

国土強靱化基本計画
【改定時期：平成30年12月】

- ・災害から得られた知見の反映
- ・社会情勢の変化等を踏まえた反映
- ・過去の自然災害等を踏まえ具体的な施策の反映
- ・国土強靱化を加速化・深化するための方策、仕組みの充実

北海道強靱化計画
【改定時期：令和2年2月】

- ・国のリスクシナリオを踏まえた見直し
- ・近年の地震災害や大雨災害から得られた教訓への適切な対応
- ・近年の社会情勢の変化等を踏まえた対応
- ・有識者懇談会での意見反映（厳冬期対策など）
- ・強靱化施策の実効性を高めるための取組と国への働きかけ（国費予算の確保）

釧路市強靱化計画
【改定時期：令和5年3月】

- ①国、道の強靱化計画の改定に伴う、リスクシナリオ等の修正
- ②脆弱性評価※1、施策プログラムの改定
- ③事業指標の点検と更新
- ④感染症対策（コロナ含む）の記述追記
- ⑤厳冬期対策の記述追記
- ⑥【地域課題】日本海溝・千島海溝地震の記述追記

釧路市の改定の考え方

改訂のポイント

改訂の内容

①国、道の強靱化計画の改定に伴う、リスクシナリオ等の修正	釧路市のリスクシナリオは北海道強靱化計画に設定されているカテゴリとリスクシナリオをもとに釧路の地域特性を踏まえ構成しているため、北海道に沿った修正を行う
②脆弱性評価、施策プログラムの改定	策定時と今回の改定時の状況（事業の進捗や社会情勢の変化など）を勘案し、内容の時点修正（数値の更新や計画の追加・削除）を行う
③事業指標の点検と更新	事業指標（KPI）の点検を行いカテゴリごとの評価を行うとともに事業指標（KPI）の更新を行う
④感染症対策（コロナ含む）の記述追記	社会情勢の変化を踏まえ、策定時には予測していなかったコロナウイルスなどの感染症にも対応した記述を追記する
⑤厳冬期対策の記述追記	北海道有識者懇談会での意見や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループでも議論になった厳冬期対策について、すでに記載のある冬の対策に加え厳冬期を意識した記述を追記する
⑥【地域課題】日本海溝・千島海溝地震の記述追記	国より公表された巨大地震モデル結果を踏まえ、3月には北海道より「津波災害警戒区域」に指定されるとともに、基準水位も公表されたことから現段階で記述の追記が可能なものと、被害想定をもとに今後関連する計画への反映し整合性を図ることや施策・事業の整理が必要なものもあることから、記述のタイミングを見計らって改定を進める必要がある

※1 脆弱性評価：「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」に対する地域の弱点を洗い出すプロセス及びその現状分析